

令和4年度 指定管理者総合モニタリング評価表

施設名称	塩尻市ふれあいセンター洗馬		
所在地	塩尻市大字洗馬2713番地1		
指定管理者名	社会福祉法人 塩尻市社会福祉協議会		
指定期間	平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日 (5年間のうち5年目)		
募集方法	公募	施設担当課	健康福祉事業部 福祉課

1 業務実績 (指定管理者)

当初計画	実績
【コミュニティソーシャルワーカーの設置】	【コミュニティソーシャルワーカーの設置】
1 総合相談支援事業	1 総合相談事業
・総合相談事業 622件	<ul style="list-style-type: none"> ・総合相談事業 ・相談件数 <ul style="list-style-type: none"> 福祉相談 299件 ボランティア相談 44件 有償福祉サービス 68件 福祉学習 20件 地域支援 96件 健康相談 3,418件 介護相談 0件 ・相談形式 <ul style="list-style-type: none"> 電話 364件 訪問 84件 来所 51件 会議 21件 <small>(来所件数に健康相談は含まない)</small> ・CSW連絡会 12回 ・まいさぼ連絡会 1回
【西部圏域の地域福祉活動の推進】	【西部圏域の地域福祉活動の推進】
1 講座の開催	1 講座の開催
<ul style="list-style-type: none"> ・市民担い手育成講座 4回 60人 ・出張型地域福祉講座 2回 30人 ・幅広い世代の仲間づくり 1回 15人 ・ふれあい料理講座 6回 72人 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア講座 2回 23人 <small>(認知症理解)</small> ・子ども福祉教室(児童館) 2回 34人 ・ふれあい講座 (75人) <ul style="list-style-type: none"> ほうば巻きづくり 1回 15人 リボンストラップづくり 1回 4人 親子でリフレッシュエクササイズ 1回 6人 美姿勢ヨガ 1回 12人 お菓子づくり 1回 17人 苔玉づくり 1回 21人
2 支え合いのネットワークづくりの推進	2 支え合いのネットワークづくりの推進
・支部分会支援	<ul style="list-style-type: none"> ・支部分会活動支援 <ul style="list-style-type: none"> 洗馬子育てサロン 9回 106人 ・会議への参加 <ul style="list-style-type: none"> 区長会 <ul style="list-style-type: none"> 宗賀地区区長会 1回 民協地区会 <ul style="list-style-type: none"> 洗馬地区 5回 宗賀地区 10回 檜川地区 5回 支部分会支援 <ul style="list-style-type: none"> 支所長打合せ 12回 宗賀公民館行事 4回 支部福祉懇談会 3回 支部福祉懇談会 3回

<ul style="list-style-type: none"> ・西部圏域の住民活動支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・西部圏域の住民活動支援 <ul style="list-style-type: none"> 奈良井ラボ 3回 居場所づくり座談会 4回 関所亭活動支援 9回 ・公民館との連携 <ul style="list-style-type: none"> 洗馬公民館（福祉避難所） 1回 宗賀公民館（災害備品の使い方） 1回 檜川公民館（社協、ボランティア活動） 1回 ・ケースの共有、連携の強化 <ul style="list-style-type: none"> CSW会議 12回 西部包括・CSW会議 3回 生活支援コーディネーター会議 2回 地域包括ケア推進会議 1回 ・お買い物サロン 5回 115人 ・交通課題解決プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> 定例会議 4回 移動支援関係者交流会 1回 ・寄付の仕組みづくり <ul style="list-style-type: none"> 会議 2回 米配付 4回
<ul style="list-style-type: none"> ・有償福祉サービス事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・有償福祉サービス事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> サービスの提供 25回 活動時間 32.0時間 担当者打ち合わせ会 12回 サポーター新規登録 1人 利用者新規登録 4人 新規相談 14件 継続相談 45件 しおりんお助け隊説明会 2回 しおりんお助け隊連絡会 2回
<ul style="list-style-type: none"> ・洗馬お元気食堂の開催 4回/年 	<ul style="list-style-type: none"> ・洗馬お元気食堂の開催 3回 25人
<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策事業 1回/年 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア会議 3回 24人 ・福祉避難所について 1回 26人
【世代間交流】 <ul style="list-style-type: none"> ・洗馬児童館まつり 1回 ・ふれあいセンター洗馬まつり 1回 	【世代間交流】 <ul style="list-style-type: none"> 洗馬ふれあいデイ 1回 72人 地区講座高齢者との交流 2回 プレゼント交流： 100人 <ul style="list-style-type: none"> 洗馬児童館、妙義保育園 季節の作品作り <ul style="list-style-type: none"> さくらのつるし飾りづくり 1回 16人 マイ箸ワークショップ 1回 11人
【ボランティア活動の推進】	【ボランティア活動の推進】
1 講座の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア講座 3回 45人 	1 講座の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア講座 2回 23人
2 ボランティア活動の拠点づくりと支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア相談 44件 ・施設全体に係わるボランティア登録 3グループ ・施設ボランティア会議 3回 24人 	2 ボランティア活動の拠点づくりと支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア相談 44件 ・自主グループ活動育成支援 3グループ ・施設ボランティア会議 3回 24人
【福祉学習の推進】 <ul style="list-style-type: none"> ・福祉学習 	【福祉学習の推進】 <ul style="list-style-type: none"> ・福祉学習 <ul style="list-style-type: none"> （西部圏域 中学校） 1校 3回 71人 （西部圏域 小学校） （他圏域 中学校） 2校 2回 ・子ども福祉教室（児童館） 2回 34人

<p>【利用者の福祉の増進】</p> <p>1 講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者生きがい講座 地区講座 72回/年 ・介護予防講座 4講座 各10回/年 	<p>【利用者の福祉の増進】</p> <p>1 講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者生きがい講座 ・地区講座の開催 <ul style="list-style-type: none"> G1（小曾部、芦ノ田） 12回 148人 G2（岩垂、太田、上組、元町） 12回 143人 G3（奈良井） 12回 144人 G4（平沢） 12回 148人 G5（桔梗ヶ原、平出、小井戸、床尾、宗賀洗馬） 12回 126人 G6（平沢、贄川、日出塩、本山、牧野） 12回 118人 ・介護予防講座 <ul style="list-style-type: none"> 笑って健康体操① 10回 156人 笑って健康体操② 11回 129人 銭太鼓① 10回 157人 銭太鼓② 10回 183人
<p>2 福祉ふれあいバス運行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスの運行 	<p>2 福祉ふれあいバス運行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座 114回 ・団体 15回
<p>【施設の有効活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉活動を行う住民、団体及びボランティアグループへの会場提供 ・図書の貸出 	<p>【施設の有効活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉活動を行う住民、団体及びボランティアグループへの会場提供 79回 ・オレンジカフェ 10回 132人 ・施設だより発行 1回 ・図書の貸出 230冊
<p>【利用者懇談会の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいセンター洗馬利用者懇談会 1回/年 ・福祉センター運営委員会 1回/年 ・苦情解決に関する委員会 2回/年 ・利用者からの意見聴取 1回/年 ・ご意見箱の設置 	<p>【利用者懇談会の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいセンター洗馬利用者懇談会 1回 ・福祉センター運営委員会 1回 ・社会福祉協議会苦情解決に関する委員会 1回 ・利用者アンケートの実施 1回 ・ご意見箱の設置
<p>【施設維持管理】</p> <p>1 管理保守点検等業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築設備保守管理業務 ・建築設備保守点検業務 <ul style="list-style-type: none"> ボイラー保守点検 2回/年 自動ドア保守点検 3回/年 貯水槽清掃 1回/年 給水ポンプ保守点検 1回 消防設備点検 2回 ろ過装置保守点検 2回 電気保管理 1回/月 太陽光給湯システム点検 1回 ・備品等保守管理業務 <ul style="list-style-type: none"> 券売機点検 1回 マイクロバス定期点検 マイクロバス車検 ・清掃業務 <ul style="list-style-type: none"> 専門業者による清掃 2回/月 日常清掃 6日/週 ・植栽等維持管理 <ul style="list-style-type: none"> 庭清掃、剪定、下草刈り 職員により随時 ・環境衛生管理業務 <ul style="list-style-type: none"> 浴槽水質検査（専門業者） 2回 浴槽水残留塩素測定（職員） 水道水残留塩素測定（職員） 1回/週 ヘアーキャッチャー清掃 1回/週 グリストラップ清掃 1回/年 	<p>【施設維持管理】</p> <p>1 管理保守点検等業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築設備保守管理業務 <ul style="list-style-type: none"> 職員による目視での点検 1回/週 ・建築設備保守点検業務 <ul style="list-style-type: none"> ボイラー保守点検 2回（8、1月） 自動ドア保守点検 3回（7、11、3月） 貯水槽清掃 1回（3月） 給水ポンプ保守点検 1回（3月） 消防設備点検 2回（9、3月） ろ過装置保守点検 2回（6、11月） 電気保管理 1回/月 太陽光給湯システム点検 1回 ・備品等保守管理業務 <ul style="list-style-type: none"> 券売機点検 1回（8月） マイクロバス定期点検 2回/年 マイクロバス車検 1回/年 ・清掃業務 <ul style="list-style-type: none"> 専門業者による清掃 2回/月 日常清掃 6日/週 ・植栽等維持管理 <ul style="list-style-type: none"> 庭清掃、剪定、下草刈り 職員により随時 ・環境衛生管理業務 <ul style="list-style-type: none"> 浴槽水質検査（専門業者） 2回（8、2月） 浴槽水残留塩素測定（職員） 3回/日 水道水残留塩素測定（職員） 1回/週 ヘアーキャッチャー清掃 1回/週 グリストラップ清掃 0回/年

2 修繕業務	2 修繕業務 適宜市担当課に連絡、実施	件
3 警備業務	3 警備業務 警備会社に依頼	
4 除雪業務	4 除雪業務 ・職員により実施 ・業者依頼	3回
5 集金業務	5 集金業務 ・入浴料は券売機にて清算	
【防犯、防災、緊急時の対応】 ・消防計画により防災訓練	2回/年	【防犯、防災、緊急時の対応】 ・消防計画により防災訓練、点検 2回(8,10月) ・AED使用方法、救急法講習 1回
【職員研修】	【職員研修】 ・社会福祉協議会職員研修 管理者研修 1人 交通安全研修 10人 社協発展強化研修 3人 ・職場外研修(6件) コミュニティにおけるソーシャルワーク実践研修 1人 生活支援コーディネーター情報交換会 1人 これからの社会福祉協議会の役割と実践を考える ワークショップ 1人 介護保険制度等を活用した移動支援の取り組みと 公共交通セ策との関係(Zoom) 1人 安全運転管理者研修 1人	

2 施設の利用状況(指定管理者)

利用区分等	利用目標	今年度実績 (ア)	前年度実績 (イ)	対前年 (ア) / (イ)
開館日数	301日	300日	301日	99.7%
施設利用者	18,000人	18,039人	18,139人	99.4%
施設利用者数(団体)	2,000人	3,139人	2,883人	108.9%
施設利用者数(個人)	16,000人	14,900人	15,256人	97.7%
入浴者数	12,240人	14,362人	14,667人	97.9%
入浴券売上	3,204,000円	3,765,000円	3,807,600円	98.9%
健康相談	2,600人	3,418人	3,441人	99.3%
福祉相談	-	520人	622人	83.6%

3 利用目標の達成状況に対する評価・分析(指定管理者、施設担当課)

指定管理者の 評価・分析	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍による新しい生活様式のもと、地域活動が少しずつ再開しコミュニティソーシャルワーカーは、地域の居場所づくりなどの活動支援ができた。 ・ふれあい講座では幅広い世代が参加できる講座を検討実施。また施設機能を活用した料理講座を感染予防対策に努めながら行うなど事業計画に沿った事業が実施できた。 ・年間総利用人数は、目標達成。団体利用者、これまで利用のなかった団体や世代の利用があり増加したが、入浴等の個人利用者は減少。 ・交通課題の一つである買い物弱者の課題解決の一環として、昨年度に引き続き「お買い物サロン」を5回実施。洗馬地区、宗賀地区、檜川地区の生きがい講座と合わせて行った。
施設担当の 評価・分析	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉拠点、地域の総合相談窓口として地域福祉の課題抽出、解決をCSW中心に行い、相談件数等が増え、利用者の心のよりどころとして活躍いただいた。 ・講座の開催方法について、SNS等も活用し、幅広い世代の方へ発信するように検討してもらいたい。また、講座の内容等について関係機関と共有し、内容の精査をしふれあいセンター洗馬ならではの講座の検討をしてもらいたい。 ・講座では若年層にも知ってもらえるような周知方法の検討をしてもらいたい。

4 収支状況(指定管理者)

(単位：円)

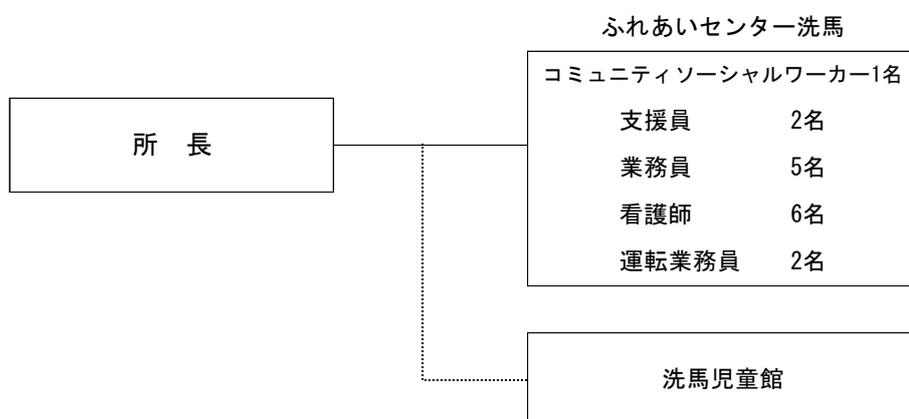
	項目	当初計画	実績 (ア)	前年度実績 (イ)	対前年 (ア) / (イ)
収 入	・ 指定管理料収入	30,781,000	32,079,000	30,781,000	104.2%
	・ 参加料収入	60,000	28,700	14,000	205.0%
	・ 利用料収入	3,774,000	3,766,000	3,774,300	99.8%
	・ 会費収入	1,816,000	0	1,816,000	皆減
	・ 雑収入	336,000	198,065	336,973	58.8%
	・ 拠点区分間繰入金収入	0	505,410	0	皆増
	収入計 (A)	36,767,000	36,577,175	36,722,273	99.6%
支 出	・ 人件費	21,483,000	20,645,197	19,483,962	106.0%
	・ 保健衛生費	114,000	129,174	99,114	130.3%
	・ 教養娯楽費	59,000	32,600	27,960	116.6%
	・ 水道光熱費	8,439,000	9,508,676	8,255,368	115.2%
	・ 消耗器具備品費	496,000	276,895	385,111	71.9%
	・ 保険料	226,000	178,620	179,525	99.5%
	・ 車両費	307,000	327,826	218,811	149.8%
	・ 職員被服費	0	0	0	0.0%
	・ 諸謝金	414,000	356,000	328,500	108.4%
	・ 旅費交通費	10,000	0	0	0.0%
	・ 研修研究費	23,000	9,500	10,500	90.5%
	・ 印刷製本費	20,000	19,734	0	皆増
	・ 事務消耗品費	166,000	55,000	160,299	34.3%
	・ 修繕費	340,000	311,223	223,476	139.3%
	・ 通信運搬費	178,000	192,773	149,953	128.6%
	・ 会議費	47,000	30,796	15,196	202.7%
	・ 業務委託費	2,291,000	2,313,768	2,262,666	102.3%
	・ 手数料	82,000	96,360	78,760	122.3%
	・ 保険料 (火災)	10,000	9,896	9,896	100.0%
	・ 賃借料	197,000	181,166	180,048	100.6%
	・ 土地・建物賃借料	204,000	204,000	204,000	100.0%
	・ 租税公課	15,000	25,850	14,100	183.3%
	・ 保守料	686,000	707,927	685,927	103.2%
	・ 諸会費	6,000	6,000	6,000	100.0%
	・ 雑支出 (退職年金事務費等)	36,000	35,508	35,264	100.7%
・ 退職手当、年金共済掛け金	918,000	922,686	917,244	100.6%	
支出計 (B)	36,767,000	36,577,175	33,931,680	107.8%	
	収支 (A) - (B)	0	0	2,790,593	
	・ 事務諸経費	0	0	2,790,593	皆減

5 財務状況を示す指標（指定管理者）

指 標	当年度	前年度
自己資本比率（資本/資産×100）	84.1%	84.6%
負債比率（（流動負債+固定負債）/資本×100）	18.9%	18.2%
固定比率（固定資産/資本×100）	92.8%	95.3%
流動比率（流動資産/流動負債×100）	562.5%	506.4%
総資産経常比率（経常利益/総資産×100）	1.2%	1.6%

6 職員の配置状況（指定管理者）

当初配置計画	配置実績
<ul style="list-style-type: none"> ・施設長 1人（常勤） ・コミュニティソーシャルワーカー 1人（常勤） ・支援員 2人（常勤 1人、非常勤 1人） ・事務員（受付、施設管理） 4人 ・看護師 5人 ・運転手 3人 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設長 1人（常勤） ・コミュニティソーシャルワーカー 1人（常勤） ・支援員 2人（常勤 1人、非常勤 1人） ・受付業務員 5人 ・看護師 5人 ・運転手 2人



7 自主事業の状況（指定管理者）

当初計画		実 績	
アンケート調査	1回/年	アンケート調査	1回
ふれあいセンター洗馬まつり	1回/年	ふれあいセンター洗馬まつり（洗馬ふれあいデイ）	1回
苦情解決に関する委員会	1回/年	苦情解決に関する委員会	1回
		お買い物サロン	5回

8 評価（指定管理者、施設担当課）

評価点は5段階としており、仕様書・事業計画等に対する達成度から判断します。

例えば、計画どおりの達成度であれば評価点は「3」となります。

評価項目の性質で、付けることができる評価点が制限されている項目があります。

評価点	達成度
5	: 120 % 以上
4	: 101 ~ 119 %
3	: 81 ~ 100 %
2	: 61 ~ 80 %
1	: 0 ~ 60 %

(1) 実施体制に関する評価

評価項目	No.	評価基準	評価点									
			指定管理者					施設担当課				
施設運営状況	1	協定書等に従い、開館日や開館時間等を遵守しているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	2	施設の目的が十分機能しているか	1	2	③	4	5	1	②	3	4	5
	3	施設の利用者数や稼働率は適正か	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
危機管理体制	4	避難経路が適切に確保されている等、利用者の安全が確保されているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	5	危機管理に関するマニュアル等が整備され定期的に訓練等を行っているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	6	事故・災害等の緊急時の連絡体制は確立されているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
職員体制	7	仕様書等に従った人員(人数、有資格者)を配置しているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	8	スタッフのシフトは適正であるか(労働基準法を遵守しているか)	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	9	事業計画書に則した教育・研修を実施したか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
記録・情報管理体制	10	業務日誌等を適切に作成・保管しているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	11	協定書等で定められた事業計画書・報告書等を提出しているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	12	情報公開に関する規定が整備されているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	13	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表しているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	14	個人情報保護に関する規定が整備されているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	15	個人情報等の管理は適切か	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	16	情報漏えいを防止する仕組みや対応策が講じられているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
(1) 評価点合計 (16項目)			48					47				

(2) 収支等の評価

評価項目	No.	評価基準	評価点									
			指定管理者					施設担当課				
経理状況	17	指定管理に関する経費と団体の経費を区別して、適正に管理しているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	18	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	19	収支計画書に則し、適正に予算を執行しているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	20	利用料収入などの現金管理等が適切に実施されているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
収支状況	21	事業収支は妥当か	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	22	財務状況を示す指標の異常値、大幅な変動がないか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	23	計画どおりに経費節減の取り組みを行い、その効果があったか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	24	計画以外に経費節減に向けた取り組みを行い、その効果があったか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
(2) 評価点合計 (8項目)			24					24				

(3) サービス等の内容や水準に関する評価

評価項目	No.	評価基準	評価点									
			指定管理者					施設担当課				
利用者へのサービスの状況	25	施設の予約や利用等が、公平かつ適切に実施されているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	26	言葉づかい、態度、服装等の接遇は適切か	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	27	利用者アンケートを実施し、その結果は妥当か	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	28	利用者からの意見や要望等について、可能なものは反映させているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	29	苦情や要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	30	施設のホームページは効果的に運用されているか	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5
	31	利用方法をわかりやすく説明できる仕組みができているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
事業の実施状況	32	事業計画書に則し、指定管理事業を実施しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	33	施設の目的に沿って、自主事業を実施しているか	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5
	34	各事業への参加や施設利用促進に向けた取り組みを積極的に行っているか	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5
維持管理状況	35	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生の点検・管理を適切に行っているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	36	施設や設備の点検・管理を適切に行い、履歴を適切に整理・保管しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	37	必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	38	市と指定管理者の備品が明確に区別されており、台帳により適切に管理されているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	39	外部委託内容は事前に市の承認を受けており、委託先に協定書を遵守させているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	40	省エネルギー、省資源等環境への配慮がされているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	(3) 評価点合計 (16項目)			51					51			

※No.39は外部委託がある場合のみ評価する。

(評価点の総計)

評価点総計 (満点164点)	指定管理者	123点	75.0%	施設担当課	122点	74.4%
-------------------	-------	------	-------	-------	------	-------

8 (総括) 評価に対する考え方 (指定管理者、施設担当課)

評価項目	評価項目No.とその評価点を付けた理由			
	No.	指定管理者	No.	施設担当課
(1) 実施体制	3	利用者総数は計画どおりであったが、前年度比では0.5%減となった。団体利用は社協分会の高齢者の集いに加え、子育てサークル等の利用があり増加した。	2	ふれあいセンターの設置目的、地域への認知度の向上に、一層努めてほしい。
	5	ふれあいセンターのBCP計画を社会福祉協議会プロジェクトにて検討し作成中。利用者の安全確保のため、職員にAED使用、救急法の研修を実施した。	5	利用者の安全を担保できるよう適切な訓練を実施した。
	9	受付の業務手順を見直し、担当職員が円滑に業務を行うことができるよう、職員会議において確認、周知を図った。	9	積極的に業務改善に繋がる取組を行っている。
(2) 収支等の評価	19	本会規定に基づき、経理処理を行い適切に予算執行した。	19	適正な予算執行に努めたことを確認した。
	20	利用料収入など現金は複数職員で確認し、適切に管理している。	23	利用料収入などの現金について、複数でチェックできる体制が構築されている。
	23	電気、ガス料金の高騰により費用は大幅に増加した。床暖房の温度設定、湯温設定を細目に管理して使用量を抑制した。	24	光熱水費の高騰が続いているが、引き続きエアコン等の適正な利用に努めてほしい。
(3) サービス等の内容や水準	28	講座参加者にアンケートを実施、介護予防講座内で意見聴取の機会を設け、要望等を把握し講座に反映した。	27	アンケート内容について、業務の中に反映していることを確認した。
	30	ホームページで施設の利用方法を掲載するとともに、講座等の案内を随時更新した。	33	施設の特徴を活かし、世代間交流を工夫して実施している。
	34	幅広い世代に事業等の周知を図るため、地域福祉推進グループのInstagram、Twitterを開設。事業について掲載した。	34	SNSを活用して情報発信し、幅広い世代の利用促進に努めている。
	35	仕様書に従い清掃、点検、検査を行い安全に施設を管理した。感染予防対策で換気、消毒を定期的に行った。	35	施設利用者が安心して参加できるように引き続き安全な施設管理を心がけていただきたい。

9 総合評価（指定管理者、施設担当課）

指定管理者	<p>■自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティソーシャルワーカーが地域へ出向く機会が増え、個別支援を継続して行うとともに居場所づくりなどの地域活動への支援ができた。 ・幅広い世代にセンター事業や講座等について周知し理解を得るため、インスタグラムやTwitterなどのSNSを利用した情報の発信を始めた。また、ホームページを随時更新した。 ・地域のつながりづくりのため公民館と連携した事業を、西部圏域の各地区で実施した。洗馬地区で行った。「福祉避難所について」の講座は参加者の関心が高かった。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ SNSやホームページ等を効果的に利用し、若い世代に施設を知る機会を増やすよう情報発信を行い利用を促進する。 ・ 児童館等と連携し福祉教育の推進と、講座利用者等との交流の機会を増やしていく。 ・ お助け隊の事業の周知により、利用者、協力者を増やし使いやすいサービスとなるようにする。
	<p>■今後の改善策（長期的に取り組むことで課題解決を図るもの）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の福祉拠点として、地域住民やボランティア団体、関係機関等と連携し協働した地域福祉活動を推進する。 ・ 災害時に備え職員研修を行うとともに、福祉避難所の立ち上げ等について地域住民が参加した訓練等を実施する。
	<p>仕様書及び実施計画に沿い、概ね良好に管理運営が行われている。施設の特徴を活かした世代間交流を実施するなど、施設の適切な運営に努めている。コミュニティソーシャルワーカーを設置している効果を見える化するとともに、個別支援、地域支援をより一層進めていただきたい。</p> <p>ふれあいセンターで実施している事業の効果を検証するなど、PDCAのマネジメントサイクルにより、事業の方向性を検討していただきたい。併せて、ふれあいセンターの目的、認知度の向上に努めていただきたい。</p>
施設担当課	